

テント泊をやりましょう  
 三条の湯から雲取山

実施日 2016年6月18日(土)～19日(日)  
 天候 6/18晴れ、6/19晴れ後通り雨  
 リーダー 瀧澤 きよの  
 参加者 瀧澤きよの、宮崎敏男 計2名  
 費用 JR往復(立川起算)1,280円 車1,320円 テント(風呂付)900円 食材500円 合計4,000円  
 タイム 6/8 奥多摩駅(11:00)お祭(11:40)三条の湯(15:00) 泊  
 6/19 三条の湯(6:30)三条ダルミ(9:50~10:00)雲取山山頂(10:50)雲取山避難小屋(11:40)七ツ石山(13:22)鴨沢(小袖林道(15:30)鴨沢BS(15:55)

6/18 ホリデー快速で奥多摩駅へ、先に待っている宮崎さんと合流し、食材を持ってもらい、晴天の中バスでお祭へ。三条の湯に行く登山客と一緒に道路5分程で右の後山林道を沢の水と新緑を見ながら、歩きます。



右の防護金網の上からカーンと石の落下音が気になります。あまりに暑く青蛙はじっと固まっています。落ち葉の中を歩

いていると後ろから、「へびだよー」と言われ、リーダーへびを踏み、へびはグルグル周りながら沢に落ちて行きました。鈍感リーダーです。

昼食をとり、青岩谷橋を渡り20分三条の湯到着。チェックインして、下のテント場へ。

水場の小屋前と木の下へ張り、キムチ鍋を食べ温泉に入り釜土の前で、お兄さんイワナの串焼き。「たまたま釣れたんですよねー」嬉しそうに焼いてました。水の音を子守唄に熟睡。



6/19 5時朝食、準備兼テント撤収作業。昨日のキムチ鍋に餅を入れごはんを入れ、しっかり腹ごしらえを済ませて、

橋の下を見ると20センチ以上のイワナが泳いでいます。小屋の前を通過し左の水無尾根へ向かいます。重いザックで急登を登ります。おや又へびが出て来てくれました。今度は踏まないで済みました。

急登の巻き道、所々ザレて危険です。体重移動をうまくつかって一步一步です。ようやく、三条ダルミ近くになり明るくなり笹の原唐松の新緑の中何かが私達を誘導しています。鹿です。明るい三条ダルミに着くと鹿の親子4頭。全然逃げません。雲取山に向かって



一頭足。しっかり踏ん張って急登を登り切ると山頂です。ガスで何も見えません。さすが2千の山頂です。寒くて記念写真を撮り、避難小屋にて昼食。温かい。二人ほど長期滞在組のようです。トイレもあります。綺麗に整頓されており上の方にはふともあります。20人は寝れます。曇っています。小屋の前を七ツ石山に向かい下ります。奥多摩小屋を過ぎ50人平へリポートを過ぎたところから小雨が降りだし、様子を見ながら下山です。

七ツ石山が見える頃には大粒雨。雨具装着。二軍はしっかり訓練です。最後の登り七ツ石山もザックが昨日より軽い分足が上がります。3人のパーティに写真を撮ってもらい、今にも崩れそうな七ツ石神社、大岩を見送り、七ツ石小屋を見送り堂所を過ぎた水場で水の補給。

所々廃屋があります。広くて平なこの長く眠い登山道の長い事。下に小袖林道を見て、近道の登山道を歩くとようやく、奥多摩湖が見え、わずかでバス停に出、運良く臨時バスに座って奥多摩駅に着き、又運よくホリデー快速に乗る事ができ無事二軍の強化訓練終了しました。又間をおかずにやりたいと思いました。

宮崎さんありがとうございました。又宜しく願います。(記&写真・瀧澤きよの)

